

家族を守れ! 家庭でチェック! ~外出編~

シリーズ3回目の今回は、「外出編」です。外出先などにおいて車上ねらい・ひったくり・乗物盗などの被害に遭わないように、防犯意識が浸透しているか家庭で危険度チェックして下さい。YESは、防犯対策が必要になりますので、気になる所は直ぐに改善してください。



危険度チェック

	Yes	No
Q1 カバンなどの貴重品を車内に置いている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q2 少しの時間だからとエンジンをかけたまま車から離れる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q3 オートバイや自転車を駐輪場以外の場所に駐輪している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q4 オートバイや自転車など施錠しないで駐輪している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q5 携帯電話を操作したり、音楽を聴きながら道を歩く。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q6 肩掛けカバンなど車道側にかけても気にならない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q7 自転車などの前かごに、カバンをそのまま入れている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設問の解説

- Q1 カバンなどを車内に置いたままにすると車上ねらいに遭う可能性が高くなるので、日頃から車内にはカバンや貴重品を置かないようにしましょう。
- Q2 車内から貴重品を盗まれたり、車を盗まれてしまう可能性が高くなるので、短時間でも車から離れる時は、ロックをするようにしましょう。
- Q3 鍵をかけていても、駐輪場以外の場所では盗まれる可能性が高くなるので、明るく人の目がある駐輪場に駐輪するようにしましょう。
- Q4 確実に施錠をしないと、盗まれてしまう可能性が高くなるので、急いでいる時や自宅に駐輪する時などでも、しっかりと施錠をしましょう。
- Q5 携帯電話を操作したり、音楽を聴きながらだと周囲への注意力が低下して、事件・事故に巻き込まれる可能性が高くなるので、やめましょう。
- Q6 車道側にカバンなどを持って歩くと、ひったくりの被害に遭う可能性が高くなるので、車道とは反対側にカバンなどを持って歩きましょう。
- Q7 自転車の前かごにカバンをそのまま入れてしまうと、ひったくりの被害に遭う可能性が高くなるので、前かごにひったくり防止ネットをかけたり、カバンの上に新聞・雑誌を置いてカバンが捕られない工夫をしましょう。



お役立ち!! 一言コラム

女性のための防犯のたしなみ

女性は、小学生・中学生・高校生・大学生・社会人と幅広い年齢でわいせつ被害に遭っています。わいせつ被害の多くは夕暮れ時から夜間に発生しているので、わいせつ被害に遭わないために、次のことを実践しましょう。

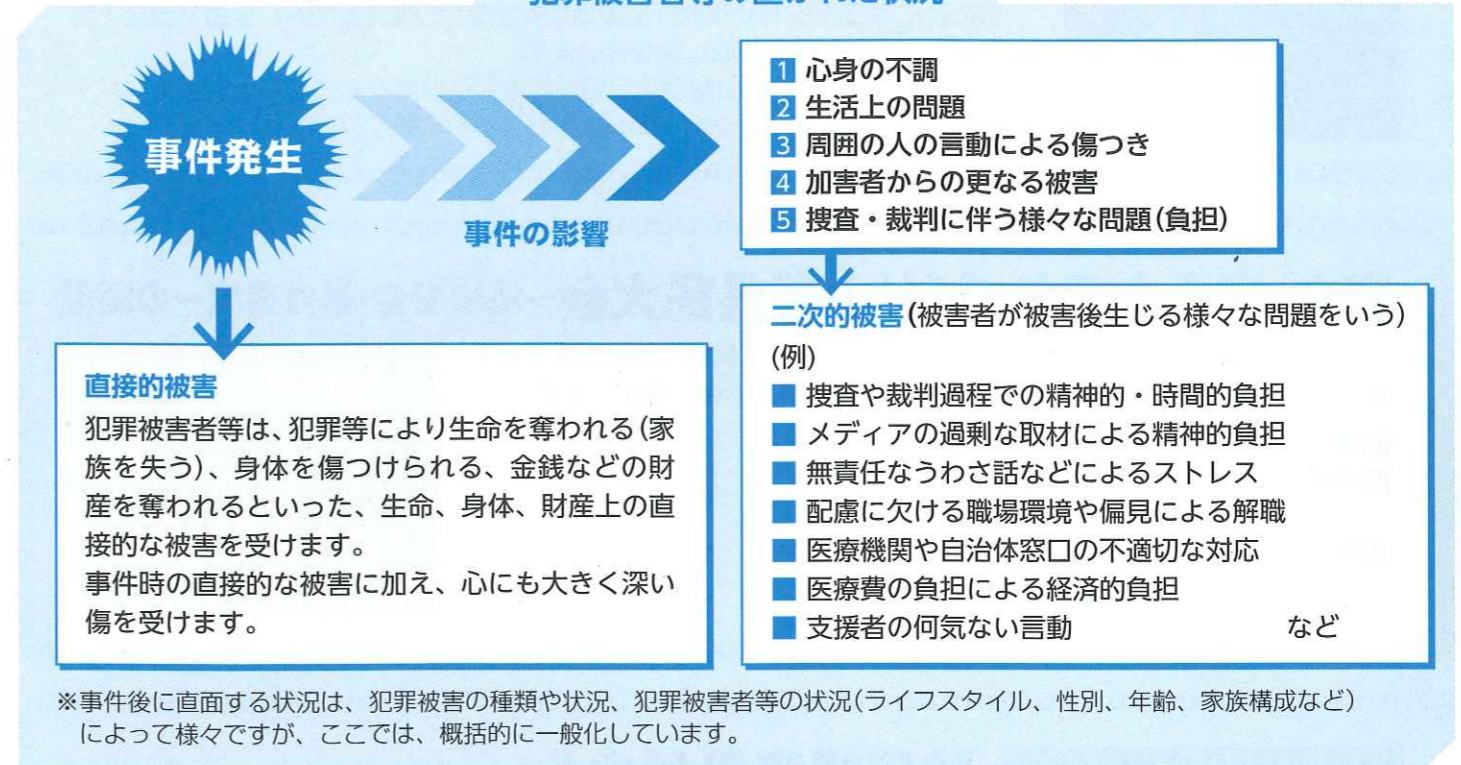
- 人通りが多く、明るい大通りを歩く。
- 携帯電話で電話やメールをしたり、音楽を聴いて歩かない。
- 車から乗り降りする場合や自宅への出入りは、周囲に不審な人がいないか確かめる。



犯罪被害者等支援にご理解とご協力を!!

ある日突然、何の落ち度もなく、大けがを負ったり、命を奪われたり、また、交通事故等に巻き込まれ、大切な家族を失うといった方々がいます。県民の誰もがこれら犯罪等の被害者等となる可能性があります。犯罪の被害を受けた人や、その家族、遺族は、次の様な肉体的・精神的・経済的被害を受けています。

犯罪被害者等の置かれた状況



犯罪被害者等が被害を受けた後も、住み慣れた地域で暮らすためには、犯罪被害者等の心身の状況や置かれた環境を理解し、地域社会全体で被害者が再び平穏な生活を営めるよう支える必要があり、そのためには、皆様のご理解とご協力が必要不可欠です!!

地域で活躍! 頑張っています! 八田地区子どもを守る会

八田地区子どもを守る会は、八田小学校へ通う子どもたちの安全と健やかな成長を願って活動しています。

主な活動は、登下校時における「子ども見守り活動」で、守る会の方が「ポイント」と呼んでいる、交通量が多い交差点や犯罪発生の多い場所に立つての見守り活動と、子ども達の後ろをついて歩く引率活動を行っています。

特に引率活動では、下校途中の子ども達の後ろを気長について歩いています。時には1時間以上も子ども達の後ろをついて歩くことから、子どもを犯罪から守るだけ



でなく、自転車泥棒やひったくりなど様々な犯罪に対する抑止効果があると感じているそうです。

会員からは、「子ども達は、寄り道したり、立ち止まって話しをするので、下校が1時間以上になる時もあります。でも下校は、塾や習い事で忙しい子ども達が友達と帰れる楽しい時間。寄り道しても、何も言わずに子ども達の後ろを気長について歩きます。だから見守り活動なんです。」と語った言葉が印象深かった。

息長く子ども見守り活動をしてもらい、この活動を通じて八田地区に住んでいる住民一人ひとりが防犯意識を持っていただきたいと思います。

